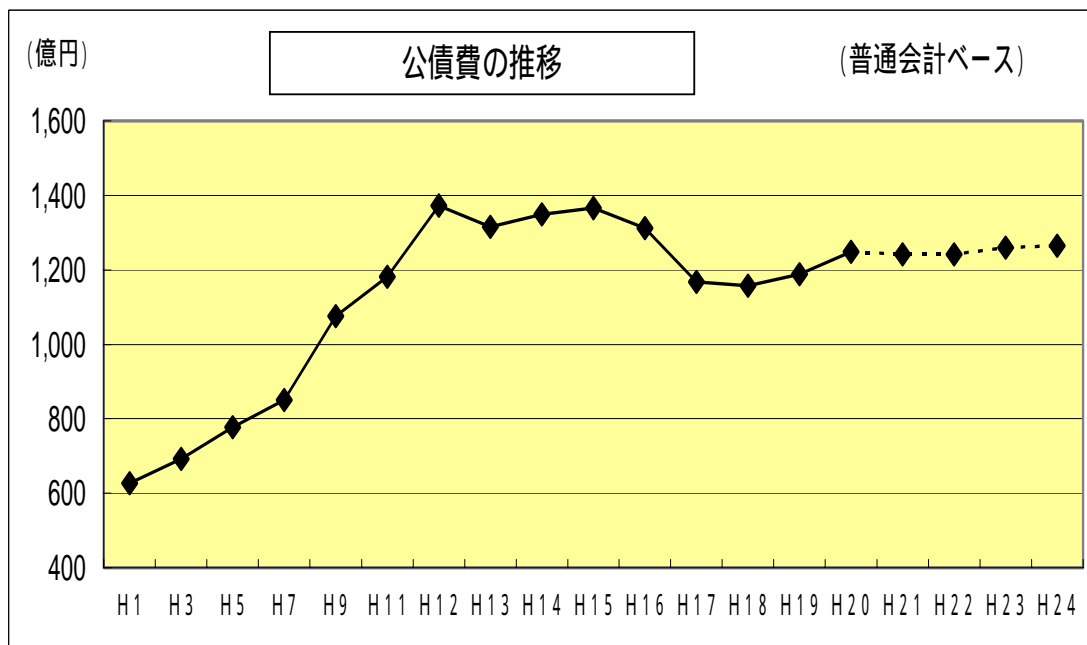


(問) 借金の返済額が年々増加していますが、いつまで増加するのですか？

(答) 今後、新幹線建設に伴い発行した県債の償還が本格化する予定であり、中期的な財政収支の試算でも、下のグラフのとおり平成21年度以降も公債費が1,200億円台の水準で推移する見込みとなっています。

これまでも投資的経費の抑制や償還期間の繰り延べ(10年→20年、20年→30年:「公債費の平準化」)により公債費の増加を抑えてきましたが、今後も、公債費が財政運営に支障を来さないようできるだけ、投資的経費の抑制等に努力していきます。



(注) H19年度は3月専決後の額。また、H20年度は6月補正後現計予算額。H21年度以降は中期試算に基づく額。

	H1	H3	H5	H7	H9	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公債費	628	692	778	850	1,076	1,181	1,372	1,316	1,349	1,366	1,312	1,168	1,158	1,188	1,248	1,242	1,242	1,260	1,264